

令和7年2月28日
教育長職務代理人答弁実録
(教育委員会)

(問) 新しい入学者選抜制度の状況について

新しい入学者選抜制度を導入してから、これまで実施してきた中での成果と課題について、教育長職務代理人に伺う。また、課題があるならば、どのように改善しようと考えているのか、併せて教育長職務代理人に伺う。

(答)

令和5年度から導入した公立高等学校の入学者選抜制度につきましては、

- ・ 自己表現の実施により、生徒が自己を振り返り、主体的に志望校を選択することに寄与しているほか、
- ・ 調査書の簡素化により、生徒が調査書の記載内容を過度に意識することなく、学校生活を送ることができるようになる

などの効果が出ていると認識しております。

一方、自己表現の実施に当たって導入した自己表現カードにつきましては、その活用状況に比べて、作成や取扱いが受検者及び教職員の負担となっている課題もあったことから、現在実施しております令和7年度選抜から、自己表現カードの作成及び提出を行わないこととする改善を図ったところでございます。

今後の検討事項といたしましては、「特色枠による選抜」について、学校が受け入れたい生徒を必ずしも選抜することができていないといった意見もあり、各学校の特色に応じた選抜としてより一層機能するよう、改善を検討していく必要があるものと考えております。

また、選抜の日程につきましては、様々な立場の考え方がございまして、高等学校側からは前倒しすべきとの意見がある一方で、中学校側からは現行のままがよいとの意見があり、相互の教育への影響なども踏まえまして、総合的に検討する必要があると考えております。